

PAT-NO: JP403278641A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03278641 A

TITLE: FACSIMILE COMMUNICATION SYSTEM

PUBN-DATE: December 10, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FUKUDA, MAYUMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NEC CORP	N/A

APPL-NO: JP02079311

APPL-DATE: March 28, 1990

INT-CL (IPC): H04L012/54, H04L012/58

US-CL-CURRENT: 358/425, 370/428 , 370/FOR.112

ABSTRACT:

PURPOSE: To acquire information with high emergency early by outputting other FAX information to a facsimile equipment being a destination while storing the FAX information of a facsimile store and forward equipment during

communication when the destination facsimile equipment (FAX) is already busy,

**CONSTITUTION:** While a sender FAX 1 sends information to a FAX 3, a FAX store and forward equipment 11 bypasses the information from the sender FAX 1 through a receiver FAX 3. When the sender FAX 2 makes a call request to the receiver FAX 3, the request is received by a line control section 111 and when the sender FAX 2 designates the priority mode, the line control section 111 discriminates interrupt enable and a storage section 112 stores the information from the sender FAX 1 and connects to the receiver FAX 3 to establish an interrupt. The information stored in the storage section 112 is outputted after the output of the information from the sender FAX 2 is finished. Thus, emergent information is sent quickly.

**COPYRIGHT:** (C)1991,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

平3-278641

⑬ Int. Cl. 5

H 04 L 12/54  
12/58

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)12月10日

7830-5K H 04 L 11/20 101 C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリ通信方式

⑯ 特願 平2-79311

⑰ 出願 平2(1990)3月28日

⑱ 発明者 富久田 真由美 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代理人 弁理士 内原 晋

明細書

シミリ通信方式。

発明の名称

ファクシミリ通信方式

特許請求の範囲

1. 電話網と複数回線で接続しファクシミリ装置からの情報を蓄積するファクシミリ蓄積装置を用いたファクシミリ通信方式において、前記ファクシミリ蓄積装置が送信側の第1のファクシミリ装置からの情報を受信側の第2のファクシミリ装置へ中継送信中に、あらかじめ設定した優先を示す送信側の第3のファクシミリ装置からの着信により前記第2のファクシミリ装置に前記第3のファクシミリ装置からの情報を送信することを特徴とするファクシミリ通信方式。

2. 前記第3のファクシミリ装置からの送信が終了したとき蓄積された前記第1のファクシミリ装置からの情報を前記第2のファクシミリ装置に送信することを特徴とする請求項1記載のファク

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はファクシミリ通信方式に関し、特にファクシミリ蓄積装置を用いた、ファクシミリ通信方式に関する。

(従来の技術)

従来のファクシミリ通信方式は、電話網によるファクシミリ装置(以下FAXと記す)間通信にファクシミリ蓄積装置を使用した場合、送信先となるFAXが既に通信中であればその通信を続行し、後からのFAXの情報を蓄積していた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のファクシミリ通信方式において、ファクシミリ蓄積装置を使用したFAX間通信では、送信先となるFAXが通信中の場合、後から送られたFAXから情報を順次蓄積するが、通信が終了するまでは長時間に亘り蓄積した情報を出力できず、緊急の情報が伝わらない場合があ

るという欠点があった。

[課題を解決するための手段]

本発明のファクシミリ通信方式は、電話網と複数回線で接続しファクシミリ装置からの情報を蓄積するファクシミリ蓄積装置を用いたファクシミリ通信方式において、前記ファクシミリ蓄積装置が送信側の第1のファクシミリ装置からの情報を受信側の第2のファクシミリ装置へ中継送信中に、あらかじめ設定した優先を示す送信側の第3のファクシミリ装置からの着呼により、第2のファクシミリ装置に第3のファクシミリ装置からの情報を送信することを特徴とする。

[実施例]

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図、第2図は本実施例の通信手順を示す交信シーケンス図である。

本実施例は、電話網21と複数回線で接続しファクシミリ装置1, 2, 3からの情報を蓄積する

ファクシミリ蓄積装置11が送信側の第1のファクシミリ装置FAX1からの情報を受信側の第2のファクシミリ装置FAX3へ中継送信中に、あらかじめ設定した優先を示す送信側の第3のファクシミリ装置FAX2からの着呼により、第2のファクシミリ装置FAX3に第3のファクシミリ装置FAX2からの情報を送信するように構成する。

次に動作について説明すると、送信側FAX1は受信側FAX3へ送信中で、受信側FAX3は送信側FAX1から送られてくる情報を出力している。この間、FAX蓄積装置11は送信側FAX1からの情報を受信側FAX3へ素通りさせている。ここで、送信側FAX2が受信側FAX3へ発呼要求をすると、回線制御部111で受信し、送信側FAX2が優先モードを指定すると、回線制御部111は割り込み可と判断して送信側FAX1からの情報の蓄積を蓄積部112で開始し、受信側FAX3と接続して割り込みを成立させる。蓄積部112に蓄積された情報は、送信側

FAX2からの情報の出力終了後に出力される。

[発明の効果]

以上説明したように本発明は、ファクシミリ蓄積装置を使用したFAX間通信において、送信先となるFAXが既に受信中の場合、ファクシミリ蓄積装置に通信中のFAX情報を蓄積する間に、もう一方のFAX情報を送信先となるFAXに出力させておくことにより、緊急性の高い情報を早く入手できる上、先に通信中であったFAXが、割り込みを受けたことを意識せずに送信を続けられるという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図、第2図は本実施例の通信手順を示す交信シーケンス図である。

1, 2, 3…FAX、11…ファクシミリ蓄積装置、11.1…回線制御部、11.2…蓄積部、21…電話網。

代理人 弁理士 内 原 智

